

①



小さな政府か、
それとも大きな政府か。
どちらを選ぶかと聞かれたら、
あなたはどうか答えますか？
考えたことがないって？

えんな馬鹿な！

大きな政府の最たるものは、
社会主義国家。
国民のお金をすべて政府が
吸い上げて、
政府がその使い道を決めてしまう。
社会主義国家は
破綻してしまったが、
実は福祉国家という形で
命脈を保っている。

②

借金だらけの
財政を救うには、
コストのかからない
小さな政府を
目指すべき。

公務員も議員も
大胆に減らしてしまおう。

都道府県制度から道州制へ、
民間でできることは民間へ、
地方でできることは地方へ。
自分でできることは自分で。

それって
当たり前だよね。

③

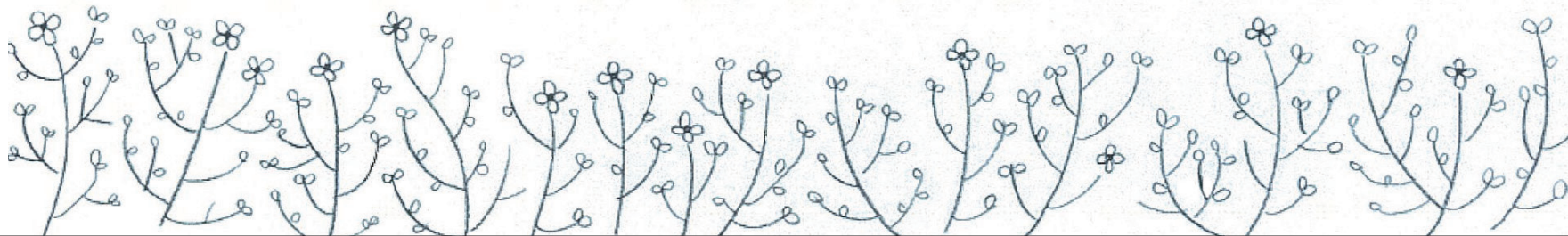
行政の無駄はいろいろなところにある。
 公立の認可保育所でゼロ歳児を1人預かると、
 税金が月50万円もかかる！
 それならいっそゼロ歳児の親に月10万円渡して、
 5世帯を助けることを考えるべき。
 保育所では朝7時から夜7時まで
 ゼロ歳児から小学校入学前までの乳幼児を預かっている。
 いちばんふれ合いが必要な時期に、
 朝・昼・夕の3食を、親と一緒にとらない子供もいる。
 果たして子供のためになるのだろうか。
 お金を出すだけではなく、
 親子のふれ合いの時間を増やす施策を考えていこう。

公務員の数をもっと減らせる。
 東京の杉並区では、
 破綻寸前だった財政を立て直すために、
 10年間で職員の約4分の1にあたる
 1000人を減らした。
 それでも行政サービスの質は向上した。
 道州制を導入して、
 都道府県の仕事を市区町村に移せば、
 4分の1くらいの職員でやっていけるはず。
 国家の仕事も道州に移管すれば、
 国家公務員も半分以上に減らせる。
 行政にかかるコスト、人件費はこれで劇的に減らせる。

db

db

db



④

貧しい時代は少ない富を集めて
地方に分配する

中央集権的な国家運営が有効な場合が多い。

ところが国が豊かになると、

中央政府をできるだけ小さくして

地方分権を進めた道州制による

統治機構が力を発揮する。

国は国にしかできない通貨や外交、

防衛といった分野だけを担い、

道州は富を生み出す産業基盤と経済を担う。

いまの省庁の分類でいうなら

2文字の省庁の仕事は国へ、

4文字の省庁の仕事は道州へ任せる

と考えるとわかりやすい。

財務、外務、防衛は国、

経済産業、国土交通、農林水産、

文部科学は道州という具合。

そして市区町村は国民の生活基盤の安定を担う。

すると地方は自由になり、
地域の特性に合った発展ができる。

世界の企業や資本にとって
魅力ある施策、

制度を独自につくれば、

世界から企業や人が集まって
富と雇用をつくってくれる。

